



公益財団法人おおいた共創基金

めじろん共創応援基金

NO.20 2021(R3). 3

NEWS

「めじろん共創応援基金」は、みなさまからのご寄附により、ボランティア団体やNPO法人などの公益活動の支援を行っています。

◆名誉顧問: 広瀬勝貞(大分県知事)

(理事)

◆理事長: 鶴田浩一郎 (NPO法人ハットウ・オンパク 理事長)

◆副理事長: 岡田 正彦 (大分大学高等教育開発センター 教授)

◆業務執行理事: 坂田 涼(おおいた共創基金 事務局長)

佐藤 誠一郎 (大分県消費生活・男女共同参画プラザ 所長)

仲道 美衣 (特定非営利活動法人 おおいた子ども劇場 理事長)

松井 督治 (株)大分放送 アナウンス室長

(監事)

井田 雅貴 (弁護士法人リブラ 弁護士)

村松 政幸 (松市政幸公認会計士事務所)

(評議員)

梅野 雅子 (NPO法人郷土伝統芸能保存会 理事長)

桑野 和泉 (株)玉の湯 代表取締役社長

権藤 淳 ((株)豊和銀行 頭取)

末松 広之 (大分市 市民部長)

高橋 基典 (大分県生活環境部長)

橋本 聖次郎 (日本文理大学 副学長)

ベルガー 舞子 (立命館アジア太平洋大学語学教育センター准教授)

柳井 智雄 (柳井電機工業株式会社 代表取締役社長)

山本真壽美 (NPO法人さわやか佐伯 理事長)

※五十音順、敬称略

2020年7月1日現在

大分市大津町 2-1-41 大分県総合社会福祉会館2階 Tel: FAX097-556-3116 E-mail: info@mejiron.org

活動報告



『大分トリニータ県民 DAY にブースを出展しました!!』



12月6日に開催された大分トリニータVSベガルタ仙台戦での県民 DAYにNPO法人おおいたNPOデザインセンターやNPO法人ゆめネットワークと一緒にめじろん基金もブースを出しました。

NPO法人おおいたNPOデザインセンターは、健康に良いモリンガを販売し、その売り上げの一部はフィリピンに学校を作る資金に寄付されることになっています。

NPO法人ゆめネットワークは、鬼滅の刃をイメージした剣を風船で作って、子ども連れの家族に配布し、とても喜ばれていました。

めじろん基金は、PRちらしと、めじろんティッシュにエコバックを添えて配布しましたが、盛況でティッシュとエコバックは、あっという間に無くなってしまいました。

また、多くの方に寄付をしていただきました。誠にありがとうございました。



『第4回おおいたNPO博に参加しました!!』



令和2年12月13日(日)にNPO団体や市民団体の日頃の活動を知ってもらうために大分市主催で開催された「第4回おおいたNPO博」に参加しました。

今年は、会場がJR大分駅中央広場から「お部屋ラボ 祝祭の広場」に変更になり、新型コロナウイルス対策のために入り口で、検温と連絡先の記入が義務づけられました。

コロナ禍の影響で来場者が大幅に減りましたが、ステージでは、団体の紹介や様々な催しが披露され場内は大いに盛り上がりました。

めじろん基金も、ステージからPRを行い、ブースでは、PRチラシ、めじろんティッシュ、エコバックなどを配布しました。

また、募金箱には、多くの方に寄付をしていただきました。誠にありがとうございました。



『おおいたNPO・県民フォーラムを開催しました!!』 (おおいたNPO・応援フェア~よりよい「社会」をめざして~)



令和2年12月18日(金)にJ:COMホール大分3階大会議室でSDGsでつながる社会貢献活動を目指して(~コロナ禍での活動を考える~)と題して「おおいたNPO・県民フォーラム」を大分県と共同で開催しました。

今回は、コロナ禍での開催ということもあり、会場では、密にならないように配慮するとともにズームによる同時配信も行いました。

昨年度に続き立命館アジア太平洋大学の須藤智徳教授に基調講演をいただき、引き続き、トークセッションのコーディネーターをお願いしました。

須藤教授からは、全国の先進地事例の紹介の後、大分県バージョンを考えることが重要であることやSDGsが目指す2030年までには、まだ10年が残されており、やれることは沢山あることなどが力説されました。

PRタイムには、4団体がステージの前でそれぞれの団体の概要と活動内容について、PRを行いました。

また、PRを希望されたNPO団体、企業、その他の団体の活動内容及びSDGsの目標についてまとめたものを事前に作成し、来場者には当日、ズーム参加者には、事前に送付しました。

トークセッションでは、コロナ禍の中、SDGsを意識しながら人とのつながりを大切することや子ども食堂への支援、クラウドファンディング等を活用してインドネシアの孤児院に文具セットを送るなど様々な社会貢献活動が報告されました。





本事業は、NPO団体が、寄付金集めのノウハウを身につけることにより、その団体が基盤強化に取り組み、継続的に活動できることを目的に、実施しました。本年度は、NPO法人地域ひとネット、NPO法人しげまさ子ども食堂-げんき広場-、NPO団体予防カフェ、NPO団体チャイルドラインおおいたの4団体が、採択され、令和2年9月1日から令和3年2月5日までの間に、様々な方法で、募金集めを行い、皆様方のご協力により、4団体総額で632,085円の寄付金を集めることができました。各団体には、『めじろん基金』から10万円を限度に、それぞれ集めた額と同額の助成金を支給しました。今後とも4団体へのご支援ご協力をお願いいたします。

NPO 法人地域ひとネット



活動を通じての感想及び抱負
 今回の寄付金を集める取組みは、当法人の励みにもなり、NPO 活動を知ってもらい良い機会になったと思っています。
 募金箱を設置させていただいた企業については、新しいお付き合いの機会が生まれてよかったです。
 今後とも当法人の活動を理解していただきながら寄付金集めを継続していきたいと考えています。

NPO 法人しげまさ子ども食堂-げんき広場-



活動を通じての感想及び抱負
 今回の寄付金を集めるという取組みを通じて、自分たちの法人の良さや足りないところをメンバー全員が共有できたところが良かったです。
 また、子ども食堂や学習支援等の活動を地域住民の皆様にも広く知っていただく機会として良かったと思っています。
 今後とも寄付集めを当法人の一つの事業として位置付け、頑張っていきたいと思っています。

NPO 団体予防カフェ



活動を通じての感想及び抱負
 今回の寄付金集めで苦労したことは、コロナの影響で接触活動が制限されたことや募金への周知が難しかったことです。
 しかしながら、活動を継続するためには、募金集めを継続することの必要性を強く感じ、意欲が湧いてきました。
 今後とも、募金活動を継続することにより、活動の継続と充実を図り、さらなる社会貢献ができる団体を目指していきます。

NPO 団体チャイルドラインおおいた



活動を通じての感想及び抱負
 募金箱をゴルフ場、スーパー、研修会場等に設置してもらいました。
 今回の活動を通じて、当団体の活動を広く理解してもらい、当団体への信頼を得ることができたと思っています。
 今後とも、募金活動を継続するとともに当団体の取組みを広く周知することにより、団体の活動を発展させていきたいと思っています。

おおいたボランティア・NPOセンター 令和2年度 講座・セミナー報告等

NPO スキルアップ講座

助成金編

NPO 法人地域ひとネットの谷川真奈美さんに講師をお願いし、助成金申請書の書き方を、初めての方にも分かりやすく説明して頂きました。
 日時:令和3年1月29日(金) 13:30~16:30
 参加団体:12団体15名(会場:3名 オンライン:12名)



決算書・報告書編

大分県消費生活・男女共同参画プラザ 主幹の高柳陽子さんと相談員の安東俊信さんに、事業報告書等の作成について、分かり易く説明して頂きました。
 日時:令和3年3月2日(火) 13:30~15:30
 参加団体:8団体9名(会場:4名 オンライン:5名)



会計フォローアップ

NPO活動に関わる会計について、お悩みのある方を対象に個別相談会を実施しました。
 日時:令和3年2月26日(金) 13:30~16:30
 参加団体:3団体



出張個別相談会

本年度は、県内3地域に出張し、事業報告書の書き方、定款変更・役員変更について、貸借対照表の公告の仕方、認定NPO等についての個別相談会を実施しました。
豊後大野
 参加団体:2団体
 日時:令和3年2月25日(火)
宇佐
 参加団体:1団体
 日時:令和3年3月4日(木)
日田
 参加団体:1団体
 日時:令和3年3月12日(金)

